

# 全道2月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和8年1月8日  
警察本部交通企画課

## 【概況】

- 発生件数全体の時間帯別では、8時から10時が最も多く、次いで10時から12時が多い。  
事故類型別では、人対車両が最も多く、次いで出会い頭が多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、2割以上がシートベルト非着用で、非着用のうち約3割がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 人対車両は、時間帯別では10時から12時が最も多く、次いで8時から10時が多い。  
地形別では市街地交差点及び市街地直線で8割以上を占めている。  
第1当事者(車両)の違反別では、歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。  
年齢層別死傷者数では、65歳以上が突出して多く、全体の約5割を占めている。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では14時から16時が最も多く、次いで12時から14時が多い。  
地形別では非市街地直線が最も多く、次いで非市街地カーブが多い。  
道路別では国道での発生が最も多く、次いで市町村道が多い。  
第1当事者の年齢層別では、65歳以上が最も多く、次いで50歳代が多い。  
第1当事者(車両)の違反別では操作不適が最も多く、そのうちの6割以上がスリップを要因としている。  
スリップ事故の時間帯別では、14時から16時が最も多く、次いで12時から14時が多い。

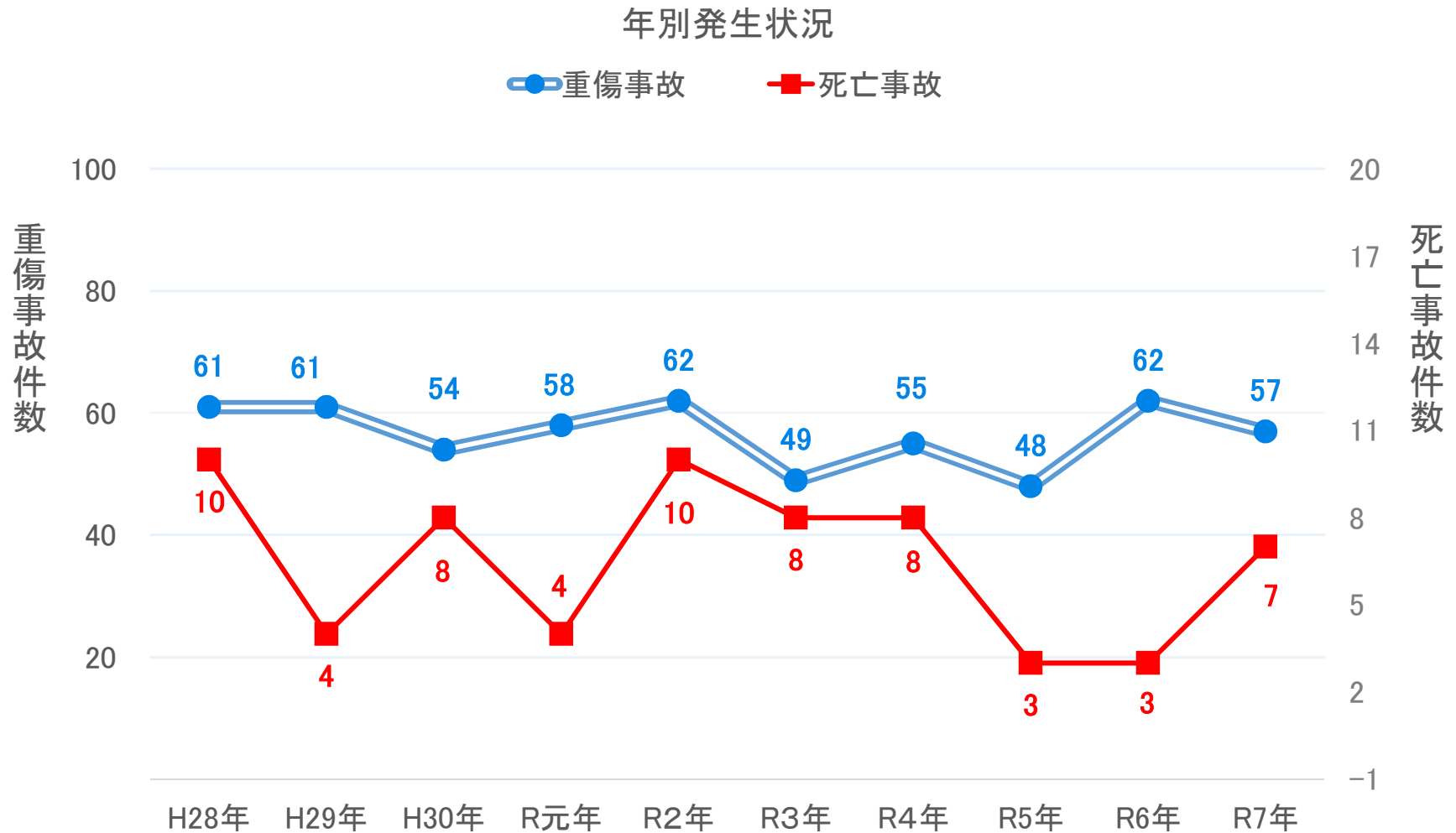
注1 本資料は、令和7年12月末日までに入手した2月中発生 of 事故データにより作成したものである。

注2 「重傷」とは、1か月(30日)以上の治療を要する負傷をいう。

注3 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者、又は過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいい、本資料中の「1当」とは、第1当事者を省略した表記である。

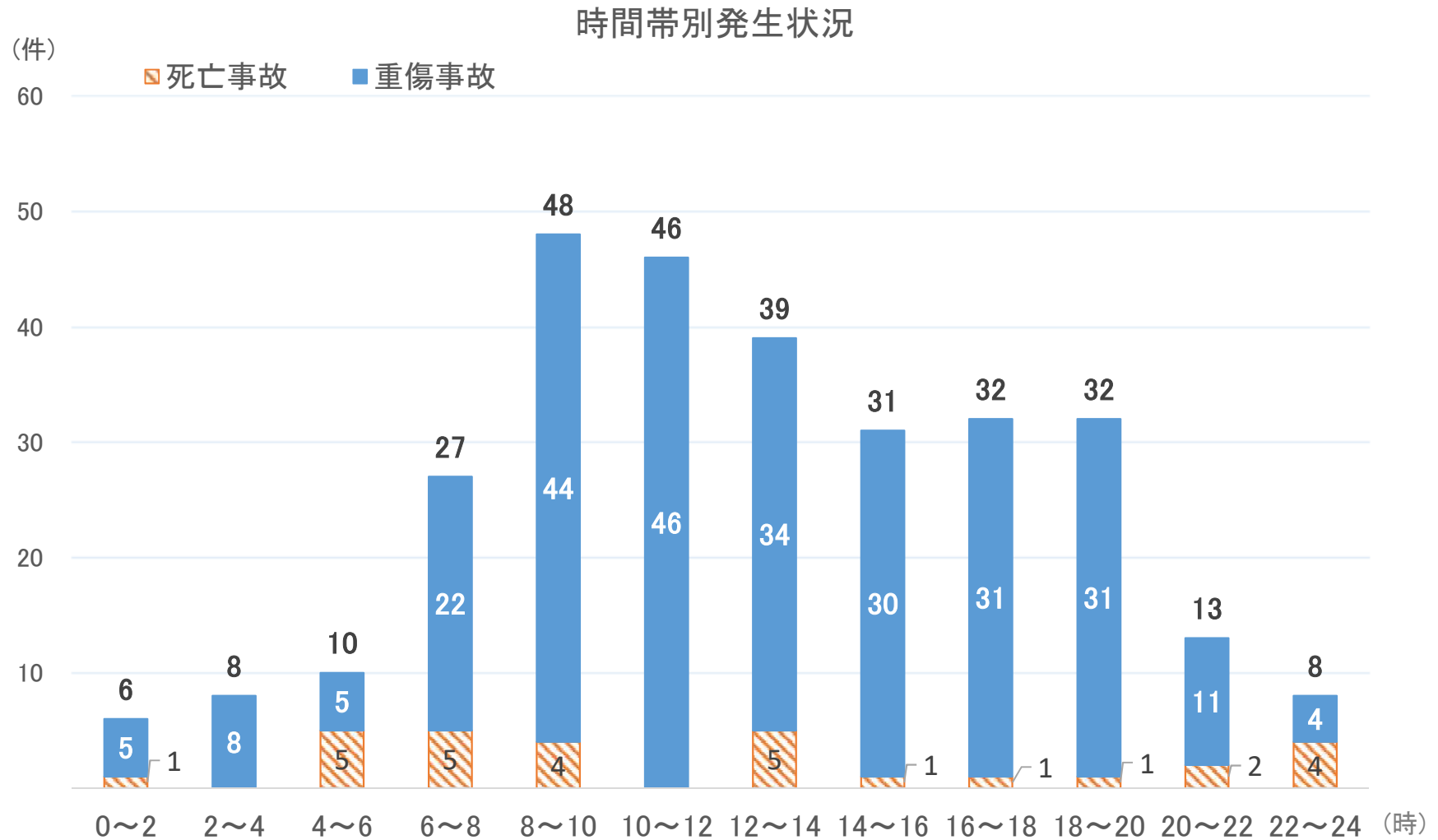
## 1-1 年別死亡・重傷事故発生状況(過去10年)

死亡事故、重傷事故ともに、増減を繰り返しながらも減少傾向で推移していたが、令和7年で、死亡事故は増加した。



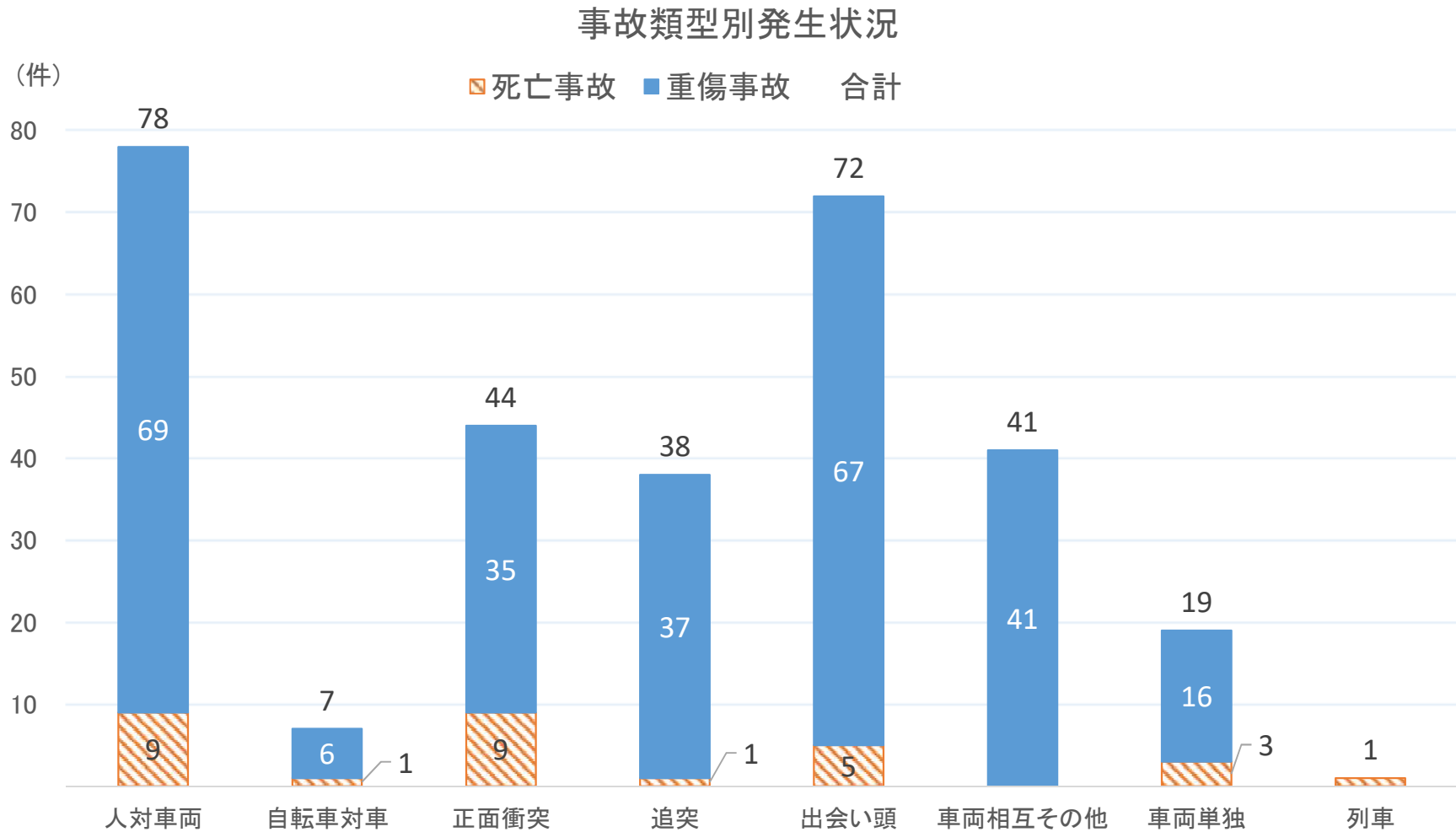
## 1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況

発生件数で見ると8～10時が最も多く、次いで10～12時が多い。  
死亡事故は4～6時、6～8時、12～14時で多く発生している。



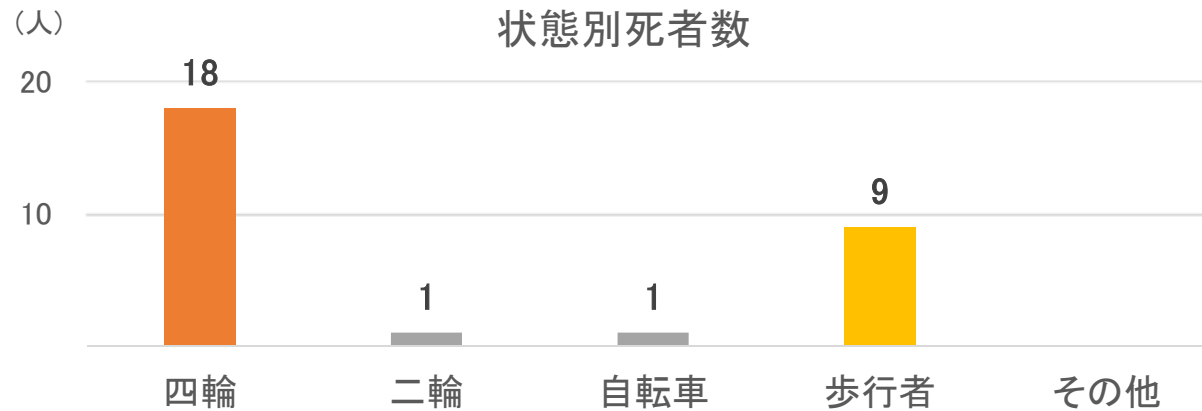
### 1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況

発生件数で見ると、人対車両が最も多く、次いで出会い頭が多い。  
死亡事故は、人対車両及び正面衝突が最も多く、次いで出会い頭が多い。



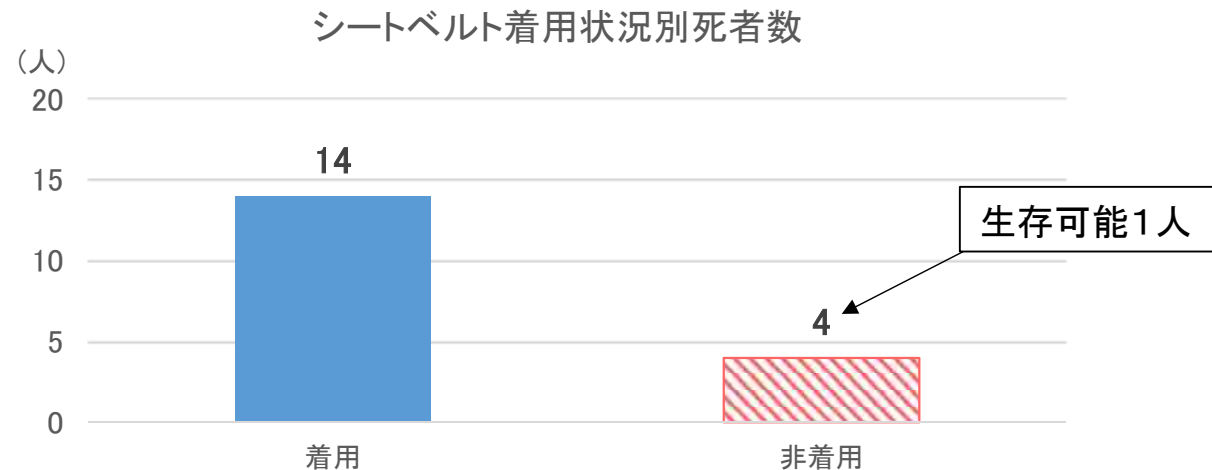
## 1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係

状態別死者数は、四輪乗車中が最も多く、次いで歩行者が多い。



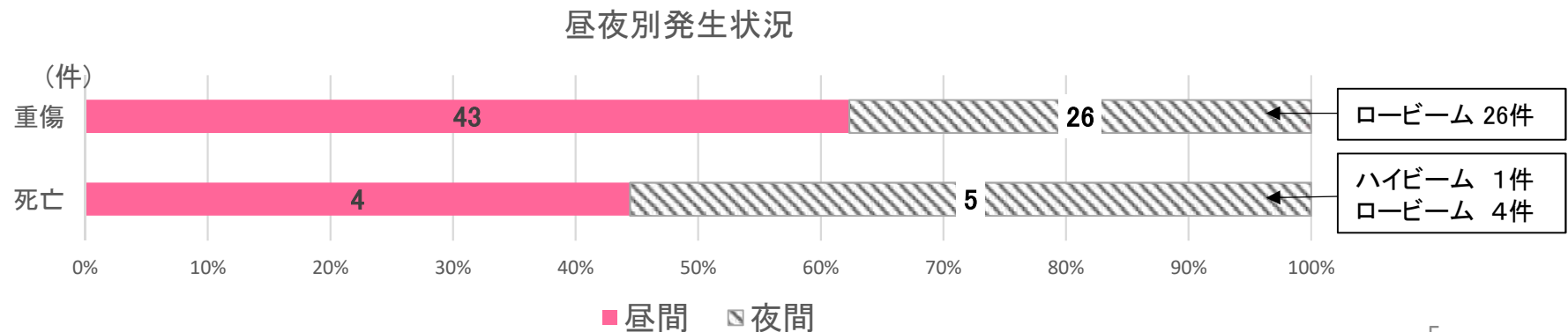
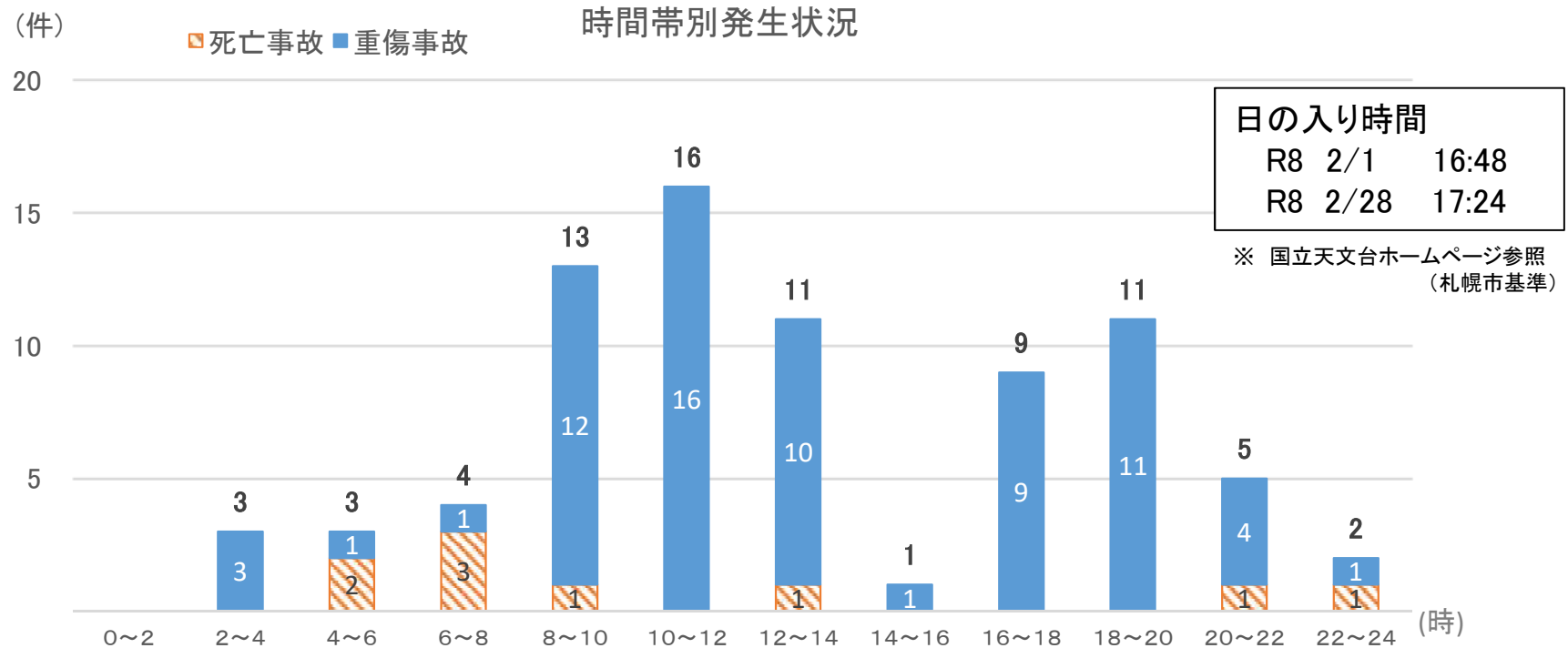
※ その他は、リヤカー、荷車、自走式除雪機等をいう。

シートベルト着用対象者(四輪)の死者18人中、シートベルト非着用者は4人(22.2%)であり、このうち1人(25.0%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



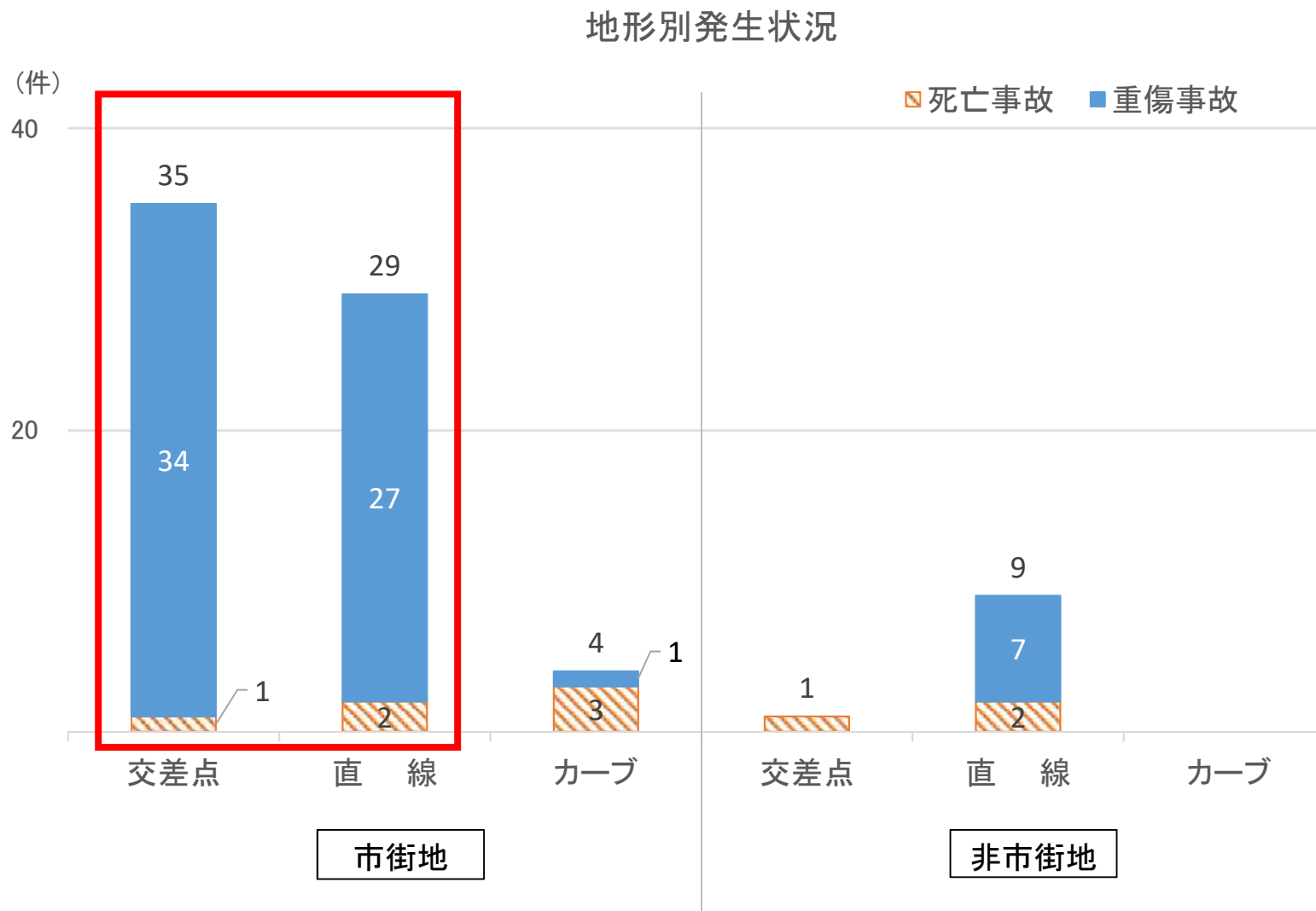
## 2-1 人対車両における時間帯別発生状況

発生件数で見ると10～12時が最も多く、次いで8～10時が多い。  
死亡事故は6～8時が最も多く、次いで4時～6時が多い。



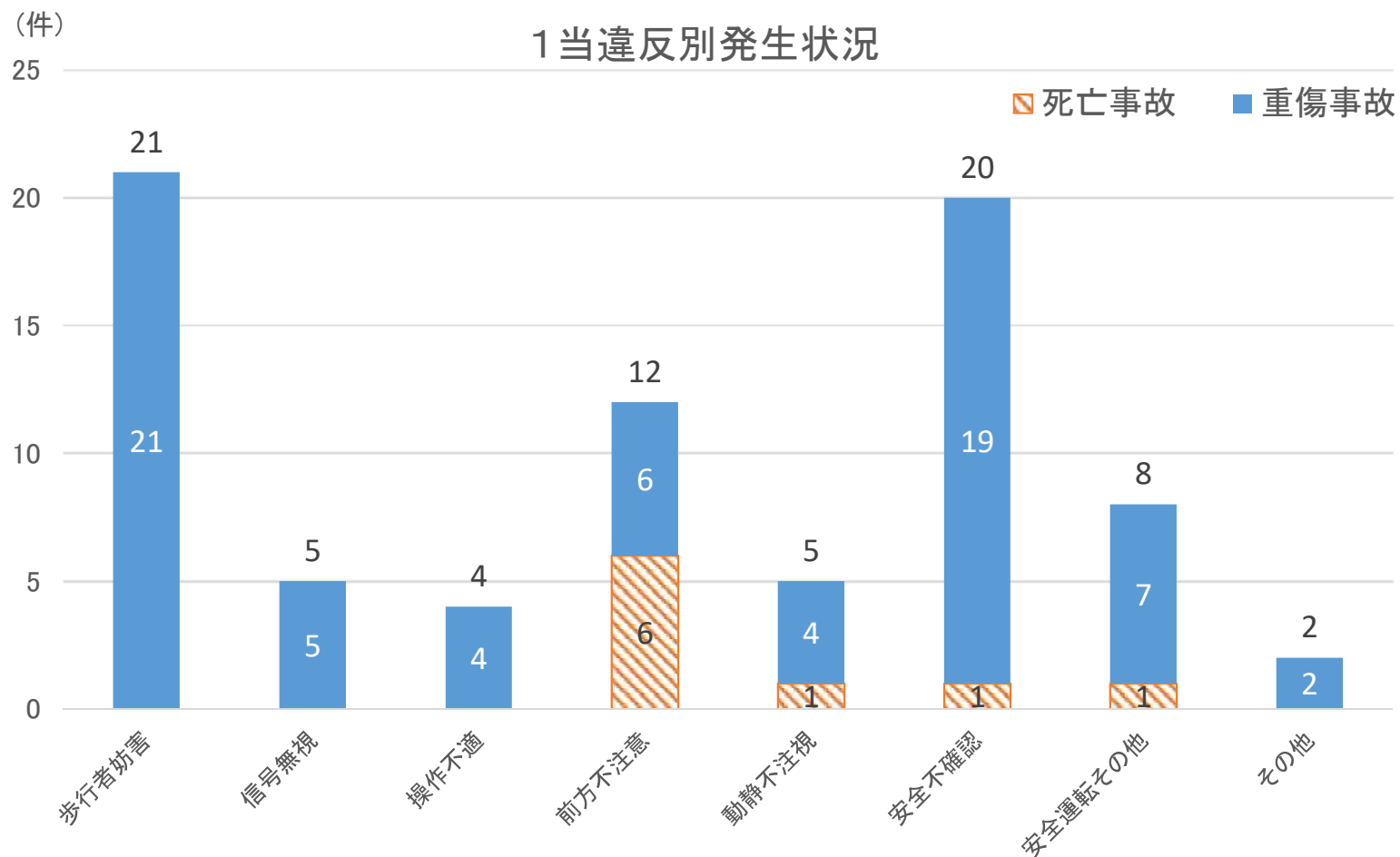
## 2-2 人对車両における地形別発生状況

市街地交差点及び市街地直線で8割以上を占めている。



## 2-3 人对車両における1当の違反別発生状況

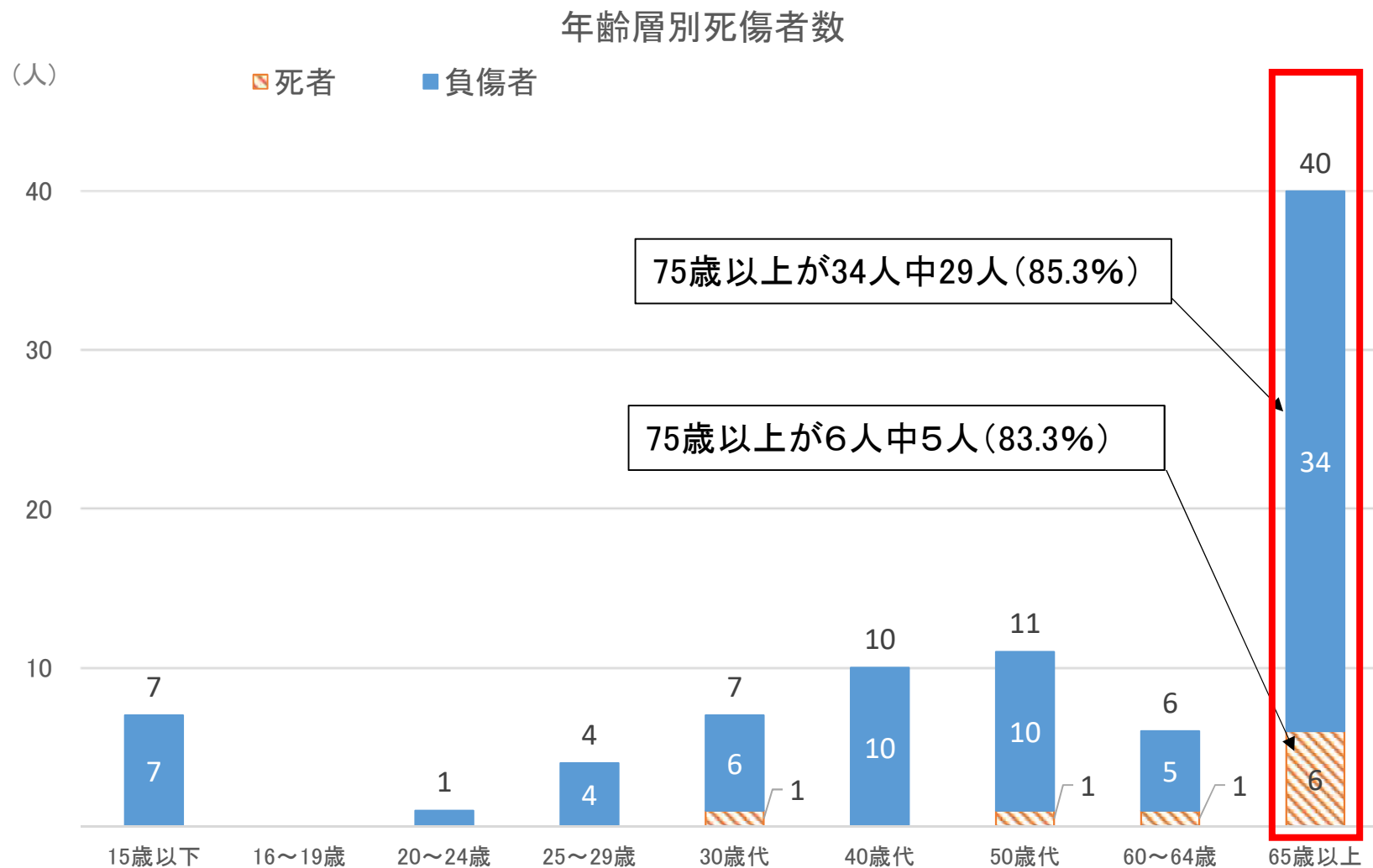
発生件数で見ると歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。  
死亡事故は、前方不注意が最も多い。



※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く

## 2-4 人対車両における年齢層別死傷者数

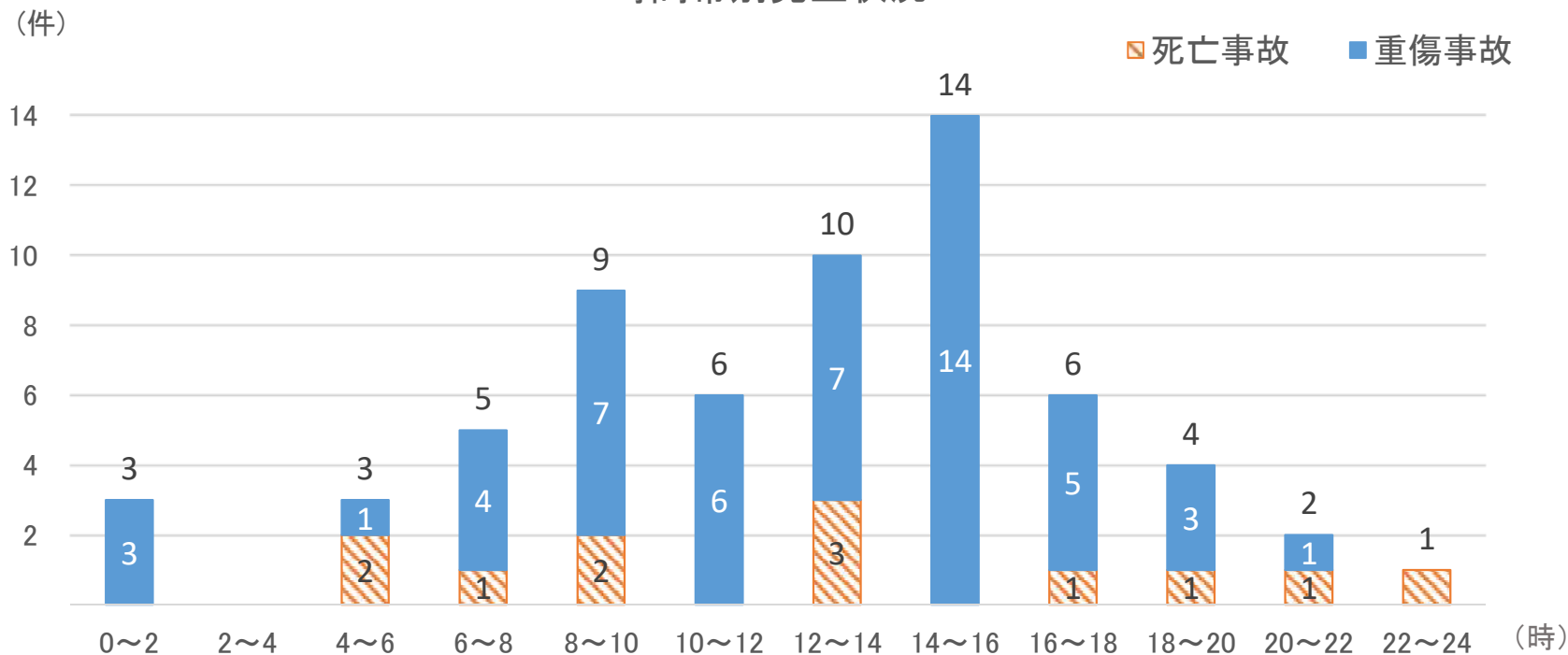
65歳以上が突出して多く、全体の約5割を占めている。



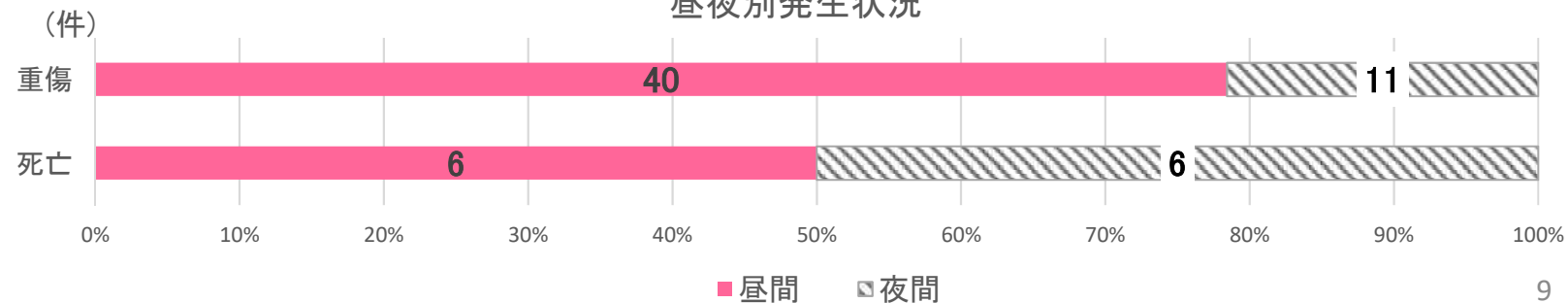
### 3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況

発生件数で見ると14～16時が最も多く、次いで12～14時が多い。  
 死亡事故件数で見ると12～14時が最も多く、次いで4～6時及び8～10時が多い。

時間帯別発生状況

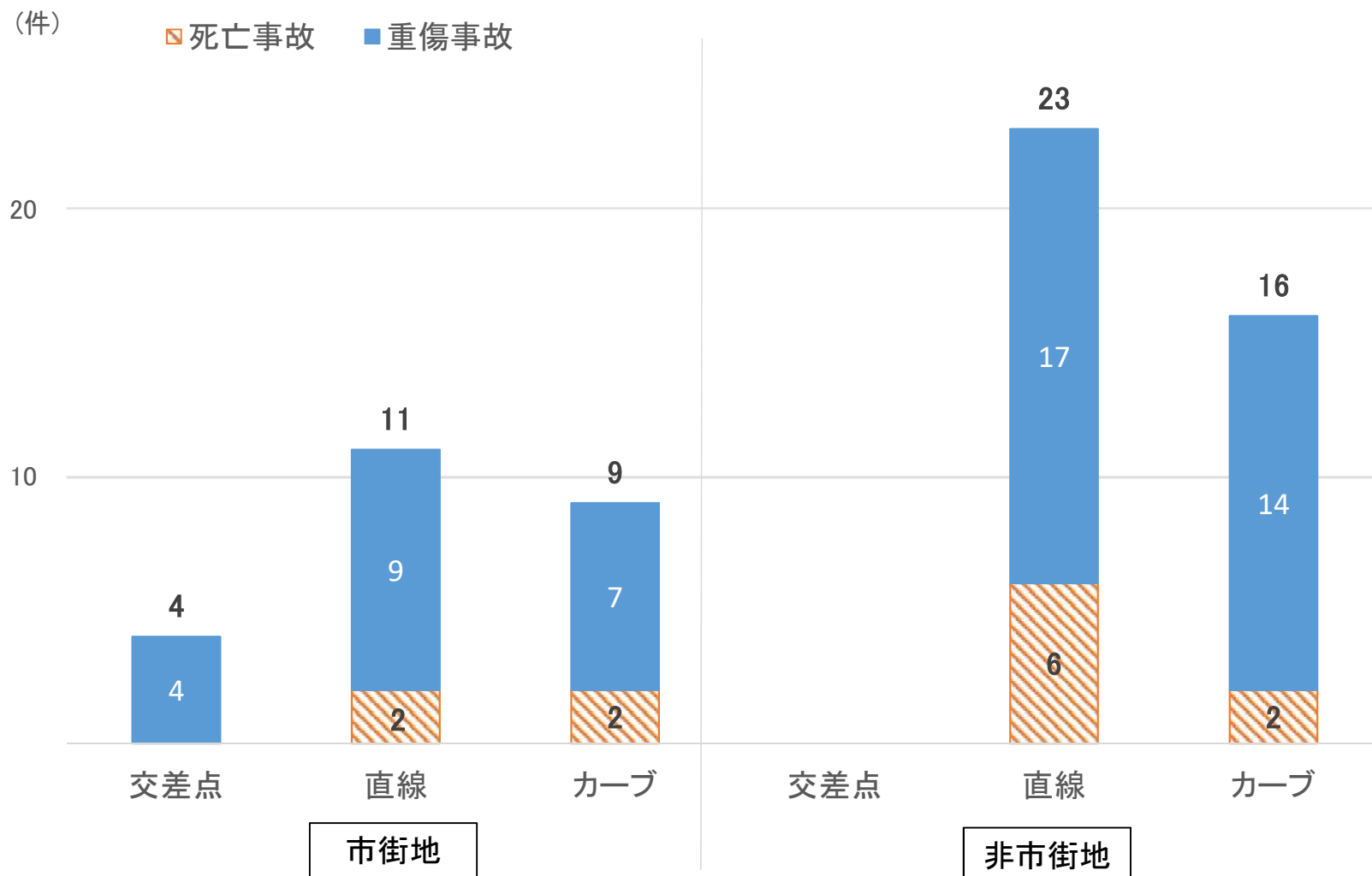


昼夜別発生状況



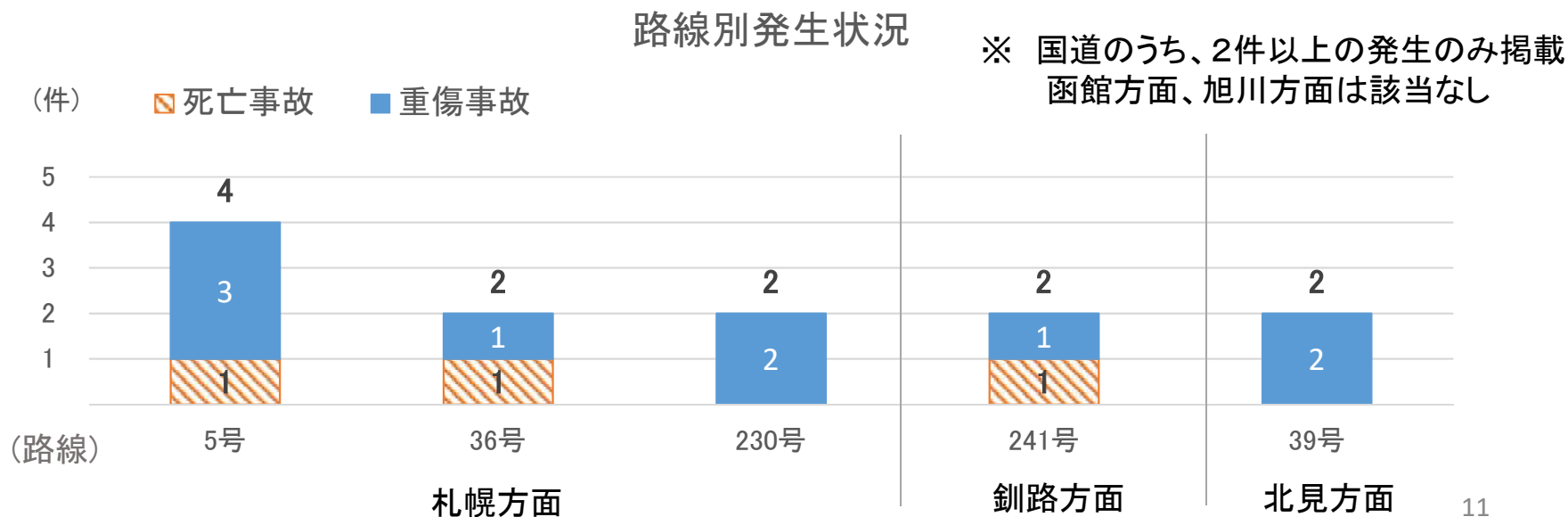
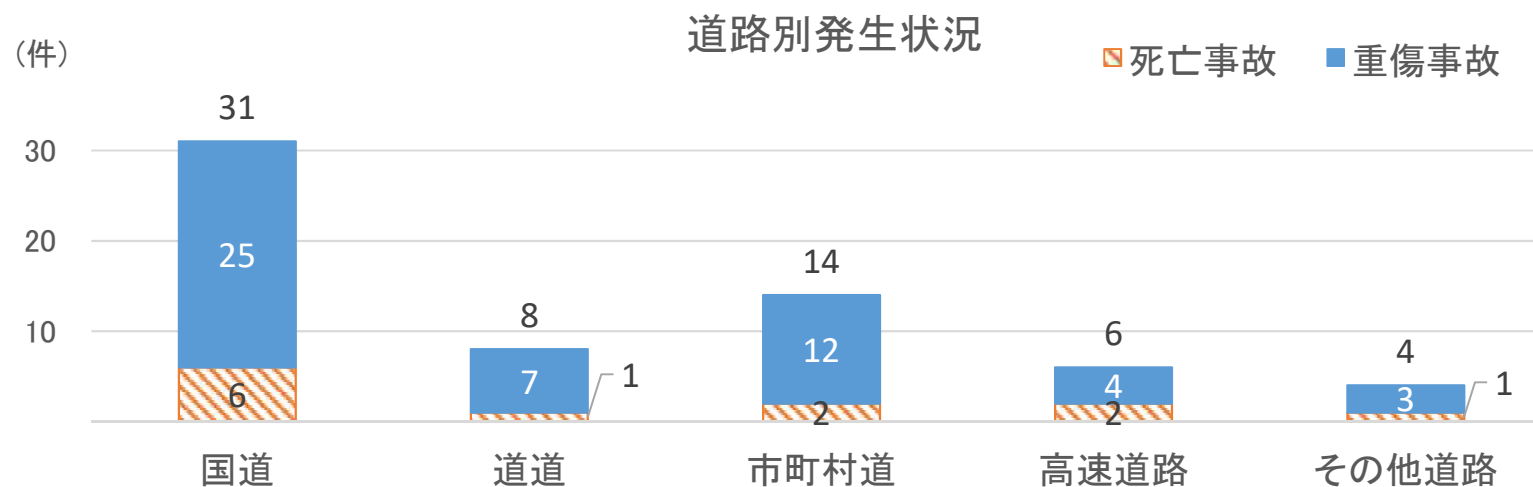
### 3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況

死亡事故でみると、非市街地直線が最も多い。  
重傷事故でみると、非市街地直線が最も多く、次いで非市街地カーブが多い。  
地形別発生状況



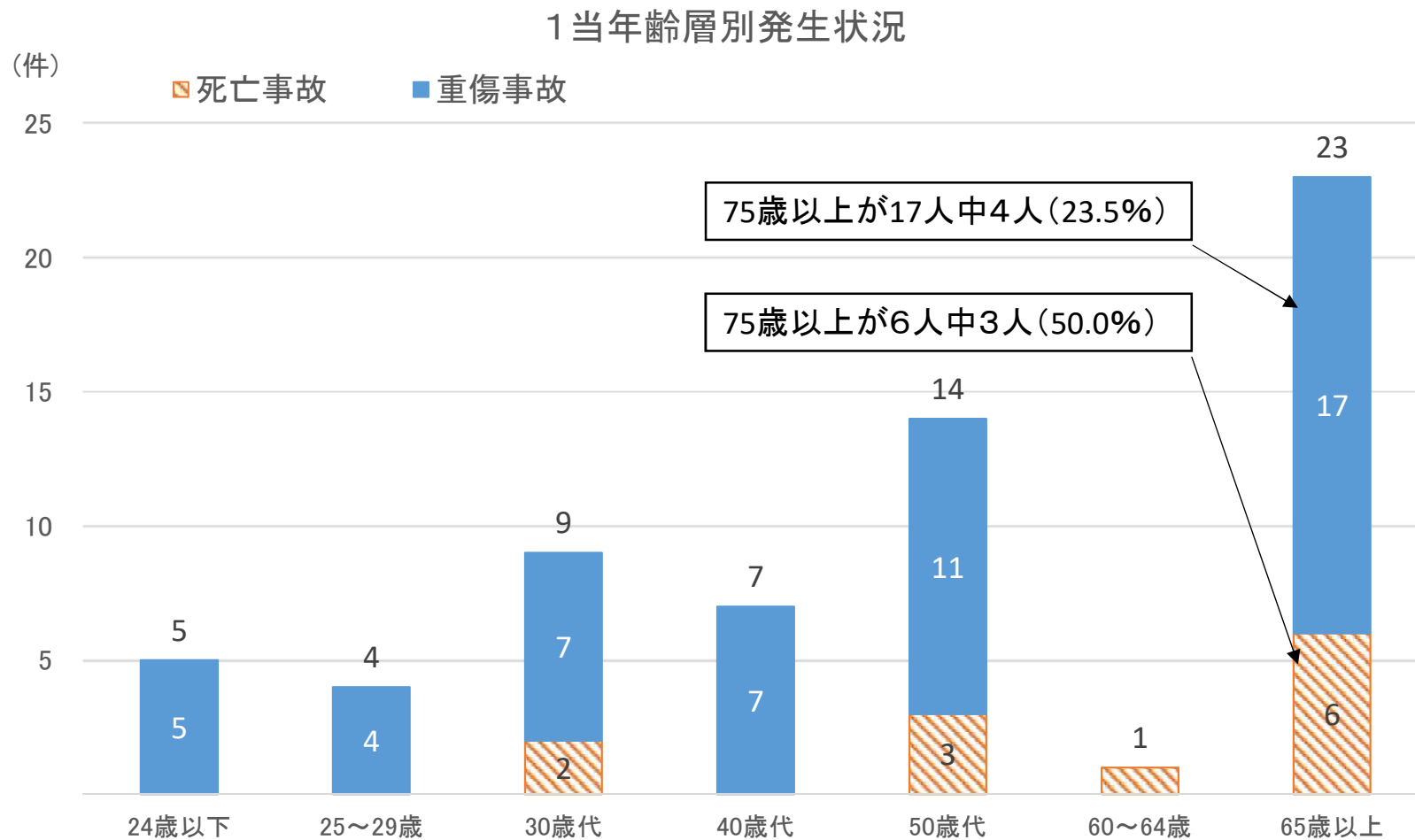
### 3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況

国道での発生が最も多く、次いで市町村道が多い。



### 3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況

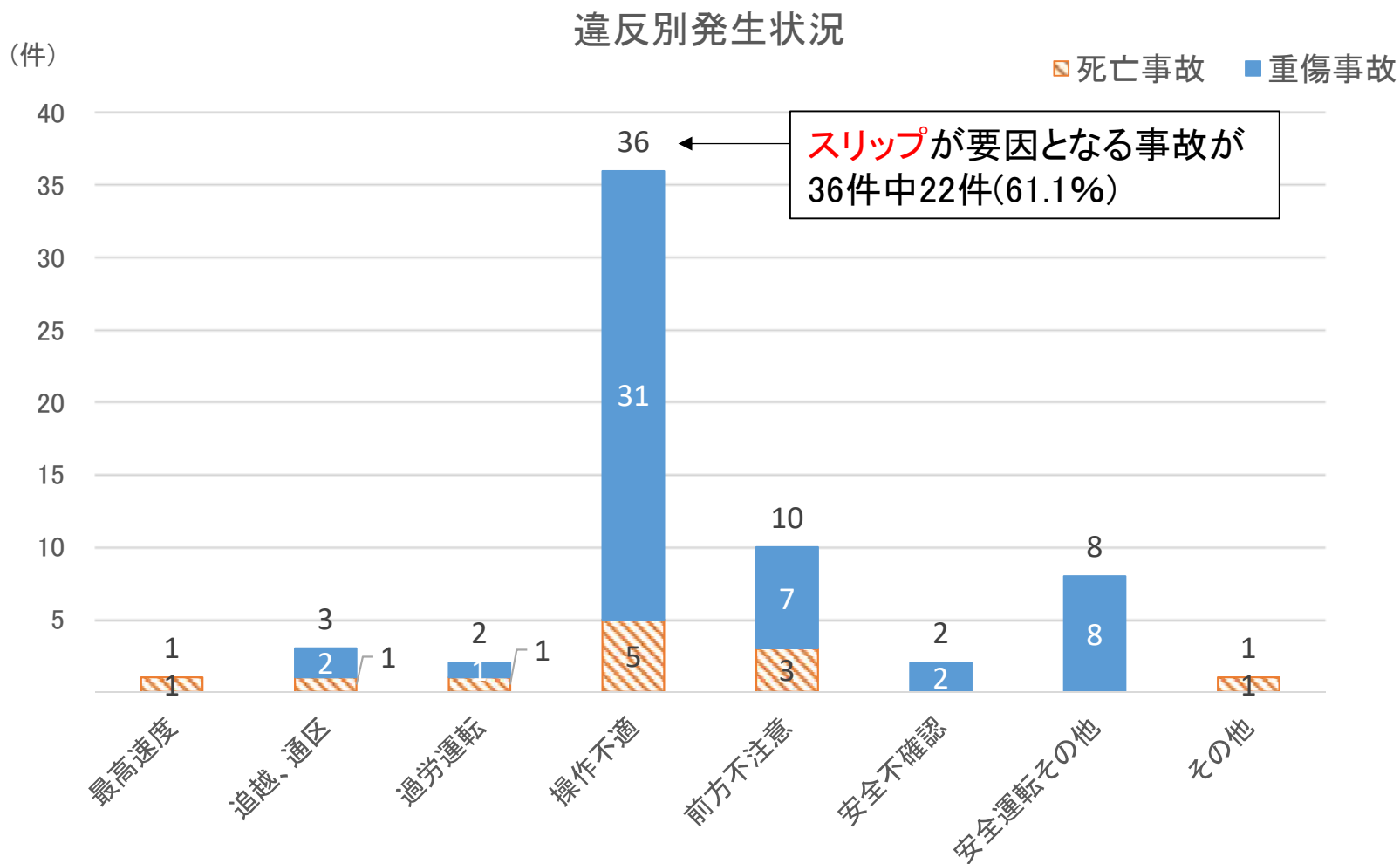
死亡事故件数、重傷事故件数ともに65歳以上が最も多く、次いで50歳代が多い。



※ その他(リヤカー、荷車、自走式除雪機等)を除く

### 3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況

死亡事故件数、重傷事故件数ともに操作不適が最も多く、次いで前方不注意が多い。



### 3-6 正面衝突・車両単独におけるスリップ事故の時間帯別発生状況

発生件数で見ると、14～16時が最も多く、次いで12～14時が多い。  
死亡事故件数で見ると、12～14時が最も多い。

